

前田 奈緒（ヴァイオリン） 小林 優子（ヴァイオリン）
佐藤 麻里（ヴァイオリン） 辻 友香（ヴァイオリン）
鈴村 大樹（ヴィオラ） 景山 奏（ヴィオラ）
福崎 茉莉子（チェロ） 印田 陽介（チェロ）

<http://enn.music.coocan.jp/>



第208回 ディスカヴァリー・コンサート（通算821回）

題字 吉田 もも

ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 二長調 作品8 セレナード ~辻・影山・福崎
ドヴォルザーク：テルツェット ハ長調 作品74 ~前田・佐藤・鈴村

グリエール：ヴァイオリンとチェロのための8つの小品 作品39 ~前田・印田

メンテルスムーン：弦楽八重奏曲 変ホ長調 作品20
~前田・小林・佐藤・辻・鈴村・影山・福崎・印田

★日 時；7月4日（日） 13：30開場 14：00開演

★会 場：トーキョーコンサツ・ラボ ※東京メトロ東西線早稲田駅2・3b出口より徒歩6分
⇒東京都新宿区西早稲田2-3-18（1階）

★入場料：一般3,500円・大学生以下2,000円

★ご予約：各出演者／下記主催者

- ・ご来聴くださる方はマスク着用をお願いします。
- ・発熱、咳、鼻水、くしゃみなど風邪のような症状のある方はご来場を見合させてください。
- ・アルコール消毒液による手指の消毒にご協力ください。

この指止まれ！

私達の活動に何らかの形でご協力くださる方は、どうかお申し出ください。

♪♪音楽ネットワーク「えん」代表 佐伯 隆

携帯電話 090-4598-0153

Eメール tsknulp1915@gmail.com

任意の市民サークル 音楽ネットワーク「えん」では、音楽を愛し、人との交わりを大切に思う仲間達が集まつて、1992年2月29日(土)に1回目のコンサートを個人宅で開催、以来、[小規模][非営利][手作り]を基本に、東京都と愛知県を中心に、埼玉県、山梨県、兵庫県、神奈川県、大阪府、仙台市、熊本市、岡山市、広島市、盛岡市、茨城県、福岡市、和歌山県、三重県、徳島市、京都市、群馬県、静岡県、新潟市、札幌市、奈良県、宮崎市などでサロン・コンサートやチャリティー・コンサートを企画・開催してまいりました。

いつも皆様のご来聴をお待ちしています。



■ 前田 奈緒 まえだ なお (ヴァイオリン)

11歳で渡英し、ロンドンでイフラ・ニーマン、パリでミシェル・オークレールのもとで学ぶ。英国王立音楽院ジュニアアカデミー、東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部卒業。これまでに印田礼二、清水高師、澤和樹、吉川朝子の各氏に師事、室内楽を松原勝也、山崎伸子、大友肇の各氏に師事。大阪国際音楽コンクール第1位及びプレジデント賞。日本クラシック音楽コンクール第2位(最高位)。第60回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位、併せて兎東賞、東儀賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。室内楽ではリゾナーレ室内楽セミナー奨励賞受賞。東京交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、ライプツィヒ・カルテット、ラデク・バボラーカ、ノエ・乾、高橋多佳子、モナ=飛鳥・オット、梯剛之各氏等と共に演奏。クラシック・ヨコハマ、六花亭ホール、すみだトリフォニーホール、磐梯国際音楽祭等各地でリサイタルを行う。サントリーホール室内楽アカデミー第1期生としてサントリーホール チェンバーミュージックガーデンに出演。また、サントリーホールオープハウス、サントリーサマーフェスティバル、第一生命ホールオープハウス、ラフォルジュルネエリアコンサートに出演するなど、ソロ、室内楽等幅広く活動を行う。藝大フィルハーモニア管弦楽団に所属。2019年より文化庁派遣芸術家在外研修員として英国に留学。英国王立音楽院教授リチャード・ディーキン師のもとで研鑽を積む。

■ 小林 倫子 こばやし みちこ (ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て英國ギルドホール音楽院へ留学、学士号、修士号、演奏家ディプロマを取得。ギルドホール音楽院及び野村国際文化財団より奨学金を受けながら7年間ロンドンに在住。その間、交換留学制度によりドイツのロベルト・シューマン音楽大学でも学ぶ。これまでに室谷高廣、徳永二男、デイヴィット・タケノの各氏に師事、さらに巨匠ルッジェーロ・リッチ氏に長年教えを受けた。JILA音楽コンクール第3位、クロイドン・シンフォニー・オーケストラ・ソリスト・アワード優勝、第69回日本音楽コンクール入選、北ロンドン音楽祭・無伴奏バッハコンクール優勝、リピッツァー国際ヴァイオリンコンクールにて特別賞、シュポア国際ヴァイオリンコンクール、シゲティ国際ヴァイオリンコンクールにてセミファイナリストなど、国内外で受賞多数。ギルドホール音楽院でも、ヴァイオリニストに対して与えられるすべての賞に加え、名誉あるゴールドメダル銀賞を受賞する。ソリストとしては、クロイドン・シンフォニー・オーケストラ、ギルドホール交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団などと共に演奏。ロンドンのウェグモア・ホール、セント・ジョンズ・スミス・スクエア、セント・マーティン・イン・ザ・フィールドなどの主要リサイタルホールにてリサイタル出演。デュオ・メリザンドやフロイデ・ピアノ・トリオを結成し、音楽祭に招かれるなど室内楽での演奏活動も精力的に行なった。現在は日本を拠点に定期的なリサイタルや、バッハ及びイザイの無伴奏作品全曲演奏会等を行なうほか、ラ・フォル・ジュルネTokyo出演や室内楽等、幅広く活動中。国立音楽大学附属中学校・高等学校及び横浜聖光学院講師。

ホームページ www.michikokobayashiviolin.com

■ 佐藤 麻里 さとう まり (ヴァイオリン)

4歳よりソルフェージュ、5歳よりヴァイオリンを始める。国立音楽大学ヴァイオリンソリストコース卒業。卒業演奏会、新人演奏会の推薦を受ける。在学中、学内オーケストラのコンサートマスターを務め、同大学奨学生として全額給付を受けてザルツブルグ夏期国際音楽アカデミーに参加、ライナー・キュッヒル氏のマスタークラス並びにオーケストラアカデミー修了。また、2019年度福島育英会海外短期研修奨学生として同氏のレッスンを受ける。14歳より毎年、草津夏期国際音楽アカデミーに参加、ウェルナー・ヒンク、マルクス・ウォルフ、サシコ・ガブリロフ各氏のマスタークラスを受講。10歳より20歳まで東京ジュニアオーケストラソサエティに所属、コンサートマスターとして定期演奏会の他、皇太子殿下(今上天皇)ご臨席の記念式典で演奏。これまでに田口美里、林徹也、菅司、現在、永峰高志、漆原啓子、青木高志、マルクス・ウォルフの各氏に師事。国立音楽大学ディプロマソリストコースに在籍中。

■ 辻 友香 つじ ともか (ヴァイオリン)

埼玉県出身。武蔵野音楽大学附属入間音楽教室にて4歳よりヴァイオリンを始める。武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科卒業、現在、同大学院音楽研究科修士課程ヴィルトゥオーゾコース1年次在籍。平成30年度～令和2年度同大学「選抜学生によるコンサート」、令和2年度卒業演奏会、令和2年度音楽学部新人演奏会に出演。同大学管弦楽団コンサートマスターを務める。京都・国際音楽学生フェスティバル2019に出演。令和2年度音楽大学卒業生演奏会(皇居東御苑内桃華楽堂)に出演。平成29年度～令和2年度福井直秋記念奨学生。ヴァイオリンを田島美佳、樋口菜穂美、R. ダヴィドヴィッチ、飯島多恵の各氏に師事。室内楽を深山尚久、恵谷真紀子の両氏に師事。



■ 鈴村 大樹 すずむら たいき (ヴィオラ)

3歳よりヴァイオリンを始め18歳でヴィオラに転向。洗足学園音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第1位、山手の丘音楽コンクール第1位、併せて横浜ライオンズクラブ賞、Fグループ賞を受賞、第9回東京音楽コンクール第3位等、数々のコンクールに入賞している。これまでに宮崎国際音楽祭、プロジェクトQ、東京・春・音楽祭等のコンサートに出演するほか、様々なオーケストラにゲスト首席奏者として出演している。ヴァイオリンを脇野真樹、宮下要、大川内弘の各氏に師事、ヴィオラと室内楽を岡田伸夫氏に師事。

■ 景山 奏 かげやま そう (ヴィオラ)

岡山県出身。6歳よりヴァイオリンを始め、11歳でヴィオラに転向。岡山県立岡山城東高等学校普通科音楽学類を経て愛知県立芸術大学音楽学部卒業。J T主催「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」、ヴィオラスペース2010（V o l . 1 9）、第42回愛知県立芸術大学卒業演奏会、第44回岡山新人演奏会に出演。これまでにヴィオラを江島幹雄、安保恵麻、百武由紀の各氏に、室内楽を百武由紀、桐山建志の両氏に師事。

■ 福崎 茉莉子 ふくざき まりこ (チェロ)

3歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科修了。泉の森ジュニアチェロコンクール小学生の部及び高校生以上の部でいずれも金賞受賞。第66回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部第2位。2009年度桐朋学園大学音楽学部（チェロアンサンブル・サイトウ）奨学金を支給される。2012年度ヤマハ音楽支援制度・音楽活動支援対象者。第4回蓼科クロイツベル音楽祭にゲスト出演し、大須賀恵里、景山誠治、景山裕子の各氏と共に演。2014年、PMF音楽祭に推薦枠で参加。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト等に多数参加。桐朋学園大学卒業演奏会、同室内楽演奏会、読売新人演奏会に出演。第3回サントリー・チェンバーミュージック・ガーデンにてカルミナ・カルテットと共に演。サントリーホール室内楽アカデミー第2期生。日本チェロ協会主催にてジャン・ギアン・ケラス、ルイス・クラレット両氏のマスタークラスを受講。これまでに佐藤満、倉田澄子、銅銀久弥の各氏に師事。2018年11月に『梯剛之&クアルテット・セレシア／ショパン：ピアノ協奏曲第1番、第2番』（ソナーレ・アートオフィス）を発売。現在、東京交響楽団研究員。

■ 印田 陽介 いんだ ようすけ (チェロ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部卒業、プラハ音楽院に留学、更なる研鑽を積む。これまでに斎藤章一、河野文昭、菊地知也、上森祥平、ヴラダン・コチの各氏に師事。チェコのドヴォルザークホールにてトマーシュ・ヤムニーチ氏と二重協奏曲を共演するなどオーケストラとの協奏曲共演、姉印田千裕とのデュオ、クアルテット雅、尺八やバンドネオンを含む六重奏団「直会」、インストゥルメンタルバンド「ハリーのしっぽ」、そのほか各種室内楽、オーケストラ等、クラシックのジャンルにとらわれない幅広い活動を展開している。蓼科音楽コンクールin東京室内楽部門第1位、ユースプラハ国際音楽コンクール弦楽アンサンブル部門金賞ほか受賞多数。CD「都市の陰影（ハリーのしっぽ）」「Water Droplets～珠玉のデュオ名曲集～」「菅原明朗器楽作品集（無伴奏セロソナタ）」「直会～Nao Rai～」など多数リリース。